

Snorkel高所作業車

S3010E

月例検査要領書



はじめに

- ・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事
- ・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください
 - ・テスター
 - ・比重計
 - ・複数サイズのレンチセット（モンキレンチでも可）
 - ・グリス
 - ・CRC等の潤滑浸透剤
 - ・パーツクリーナー
 - ・ウエス
 - ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください

作業準備

①車体・車軸



車体や前後のフック、溶接個所に亀裂や割れが無いか確認

車体および走行装置

②タイヤ



前後のタイヤに亀裂や摩耗、取付ボルトに緩み等がないか確認

車体および走行装置

③油圧モーター



前輪内側、カバーの裏にあります



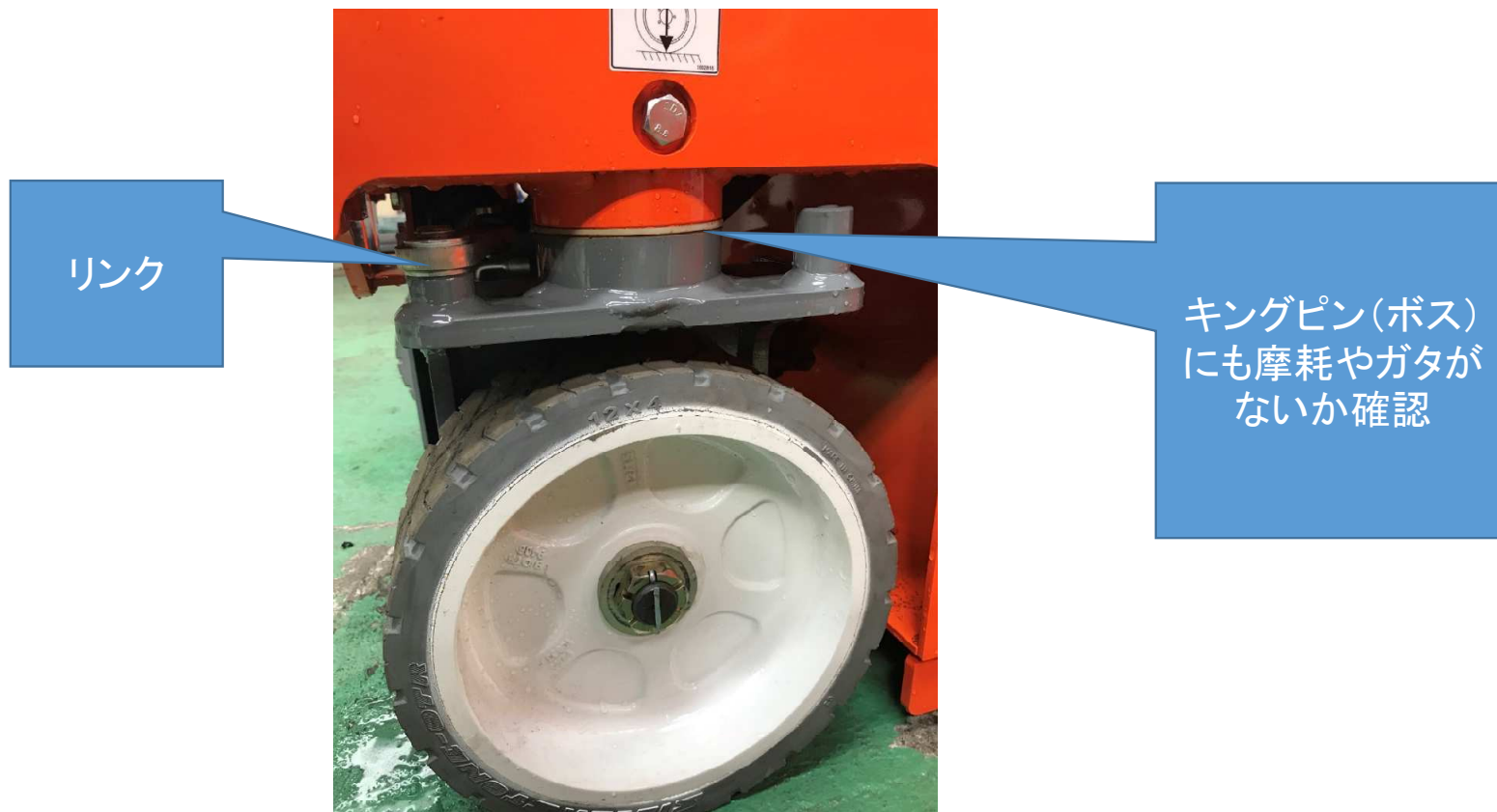
ホースの取付配管や
モーター本体から漏れ
等がないか



油の漏れやボルト緩み、汚れや錆がないか

車体および走行装置

④走行装置



リンク曲がりや破損、ピン摩耗等がないか

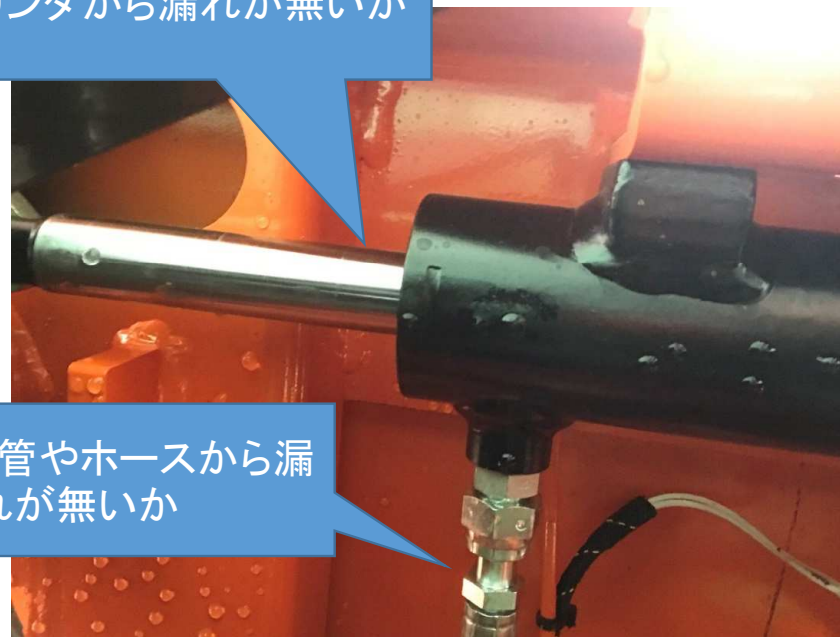
車体および走行装置

⑤かじ取り装置



フロントシャーシの裏側に
シリンダがあります

シリンダから漏れが無いかな



ホース配管やホースから漏
れが無いかな

シリンダの油漏れ、ピン摩耗、給油

車体および走行装置

⑥ブレーキ解除



ハンドポンプ

作動、バルブおよびハンドポンプの状態確認

・ブレーキ解除が正しくできるか取説に従って操作確認



ブレーキを解除する際は平坦な傾斜の無い場所で行う事。

タイヤに歯止めをかける等、逸走防止措置を講じる事。

車体および走行装置

⑦ポットホールプロテクタ



リフトを上昇させるポットホールプロテクタを動作させる



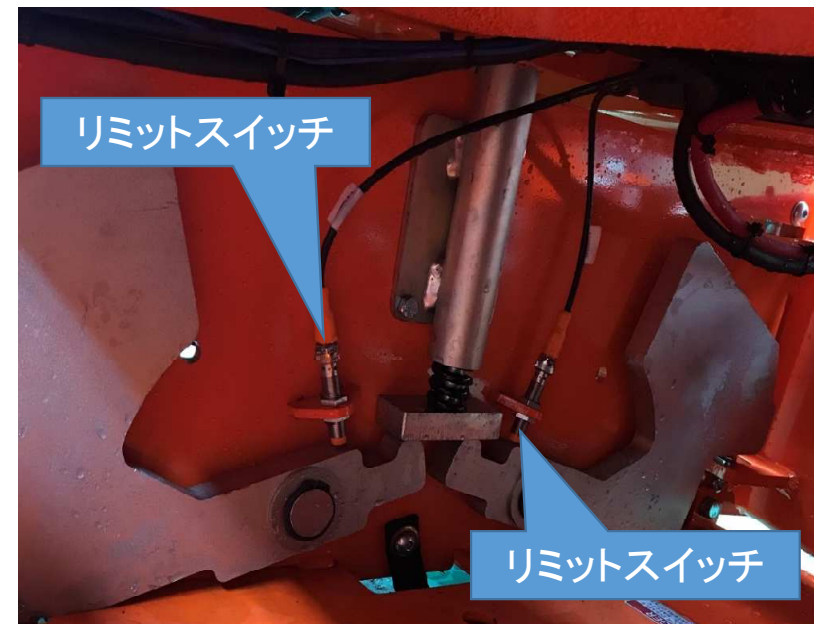
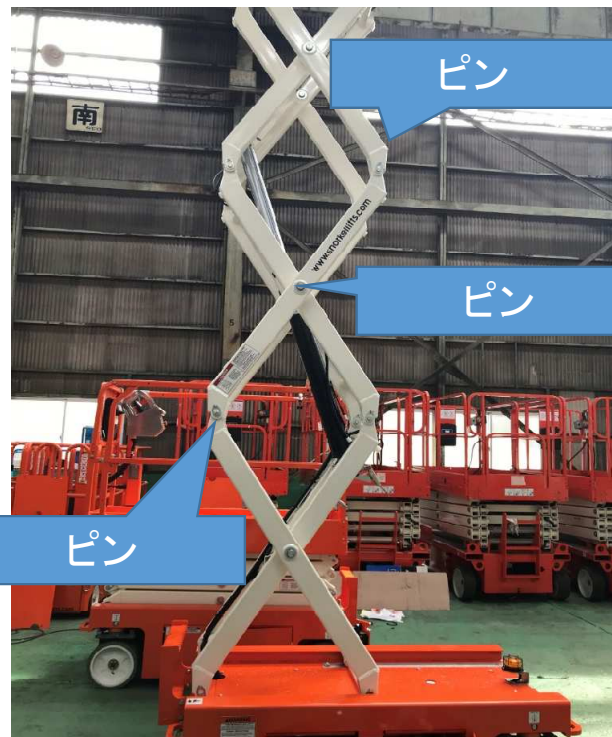
サイドのメンテナンスハッチを開け車体内部のリンケージを確認する
(車体内部前方にあります)



リンケージに異常がないか確認する

車体および走行装置

⑧シザーリフト



変形、溶接破損、ピン摩耗、ボルトナット
緩み、ローラー摩耗

・リミットスイッチ2つに損傷
がないか

昇降装置

⑨シリンダ

シリンダ本体からの
油漏れ

シリンダの取付

リンクピンの取付



・シリンダの取り付け状態の
確認

・シリンダからの油漏れはな
いか



作業床を上昇させて点検を行う
場合、万が一に備え安全支柱を使
用し挟まれ事故を防止する事

昇降装置

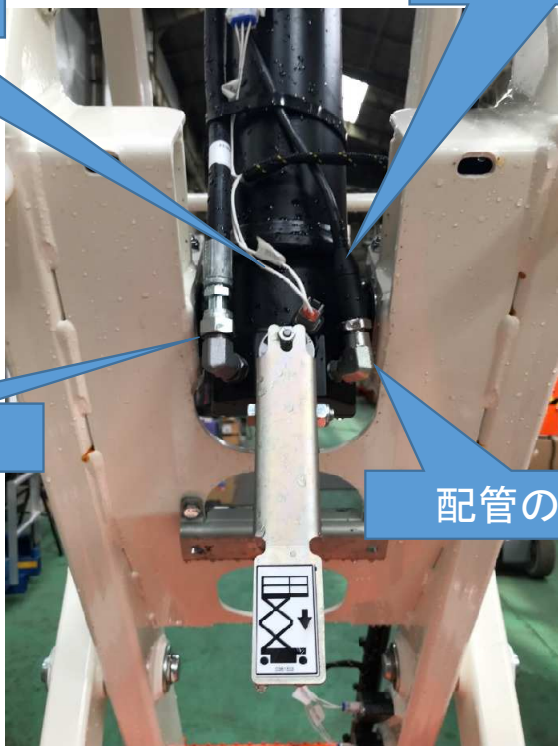
⑩配線、配管

配線に異常はないか

ホースに損傷はないか

配管の取付

配管の取付



・配線、配管、ホースに油漏れ、損傷等異常はないか



作業床を上昇させて点検を行う場合、万一に備え安全支柱を使用し挟まれ事故を防止する事

昇降装置

⑪フレーム



・作業床フレームに変形、溶接破損はないか。



昇降装置は適切に取り付けられているか。ガタ等ないか

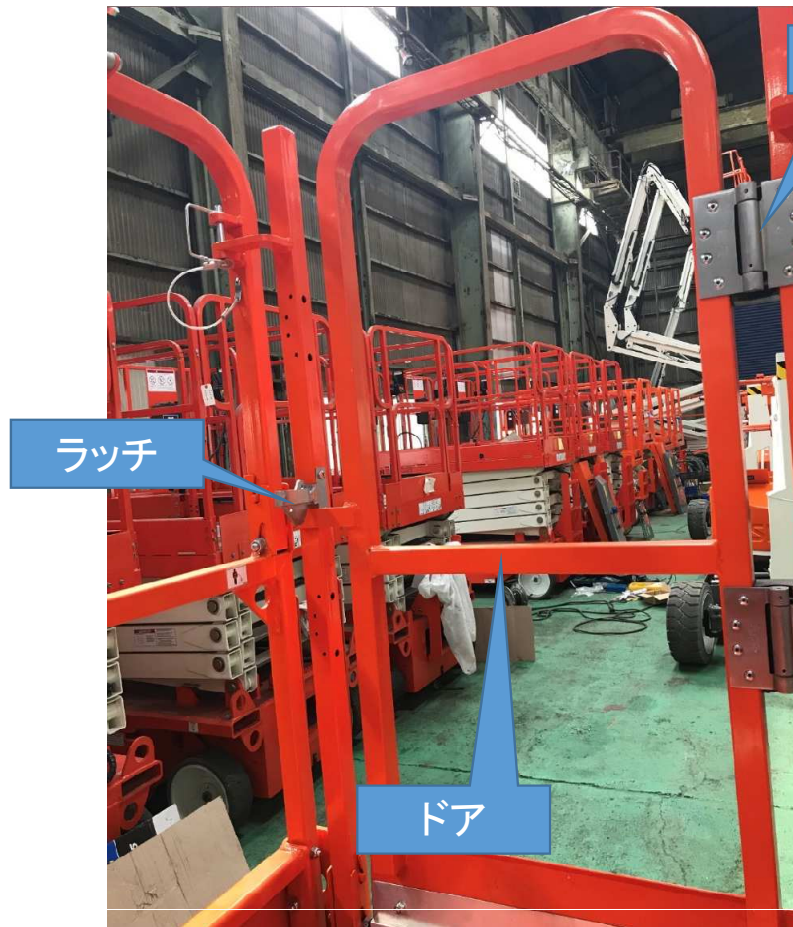
作業床

⑫手摺り



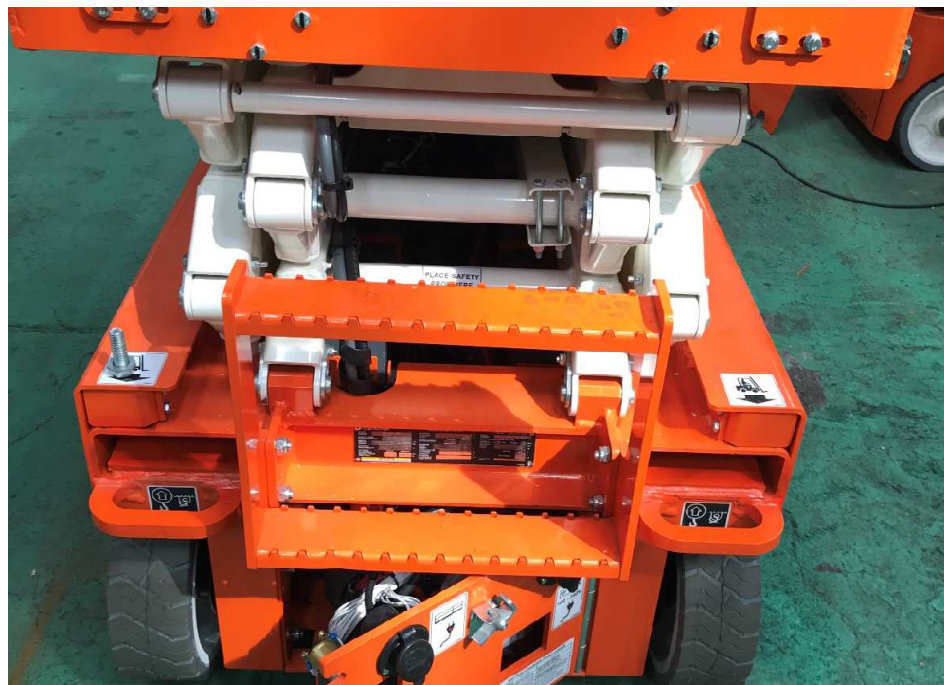
- ・手摺に変形、破損はないか
- ・ボルトナット緩みはないか
- ・中棧および幅木の破損変形はないか

⑬ 出入口



- ・ドアに変形破損はないか
- ・ヒンジに変形破損はないか。確実に取り付けられているか
- ・ラッチに変形破損はないか。ドアを閉めた状態で確実にロックされるか

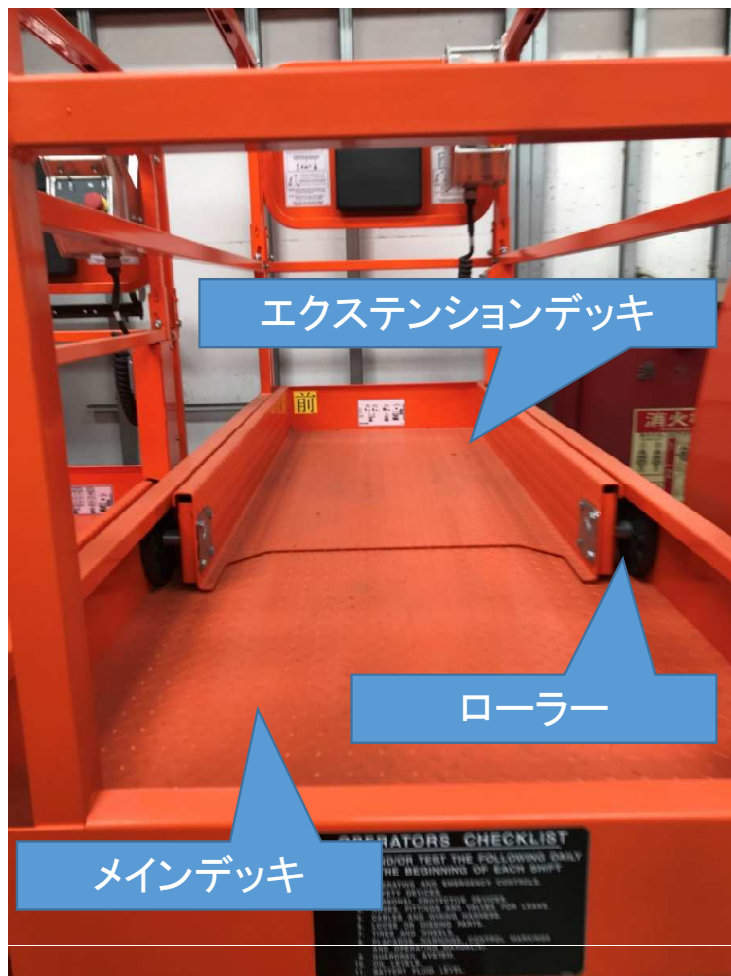
⑭ステップ・昇降設備



変形や損傷、ボルト緩み等はないか

作業床

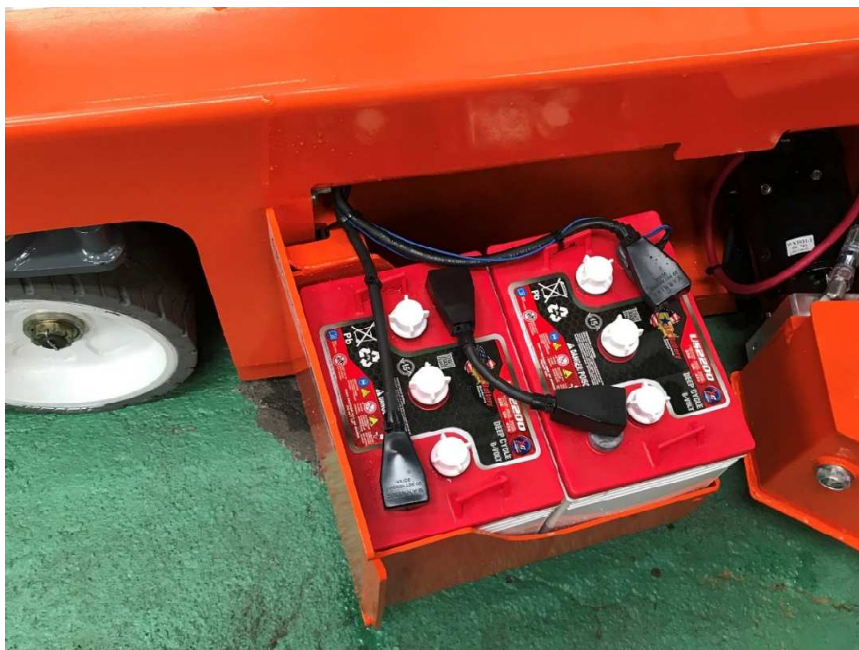
⑮メインデッキ ⑯エクステンションデッキ



- ・メインデッキ作業床に腐食、錆、破損はないか
- ・エクステンションデッキも同様に異常はないか
- ・エクステンションデッキのハンドルロックおよびガイドローラーに異常はないか

作業床

⑪バッテリー



- ・バッテリー液量は適切か
 - ・バッテリー比重は適切か
 - ・端子緩み、腐食、変形はないか
- ※左右合計4個とも確認する事



バッテリーに入っているバッテリー液には希硫酸が含まれるため、身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。



比重は満充電で1.27～1.28を目安とする

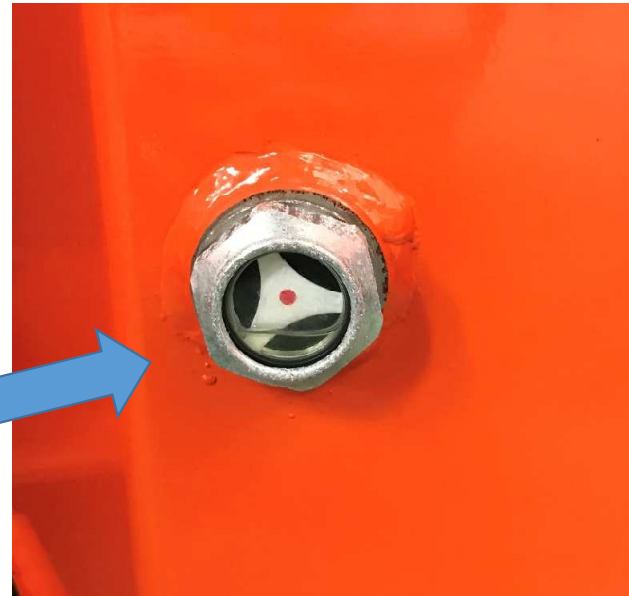
⑱ 直流モーター ⑲ 油圧ポンプ



- ・モーターの汚れ、ブラシ摩耗、端子緩みはないか
- ・ポンプの配管緩み、油漏れはないか
- ・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか

メンテナンスハッチ内にある

②0作動油



- ・作動油の量は適切か
- ・汚れ、漏れはないか
- ・フィルタ汚れはないか（年に一度交換推奨）

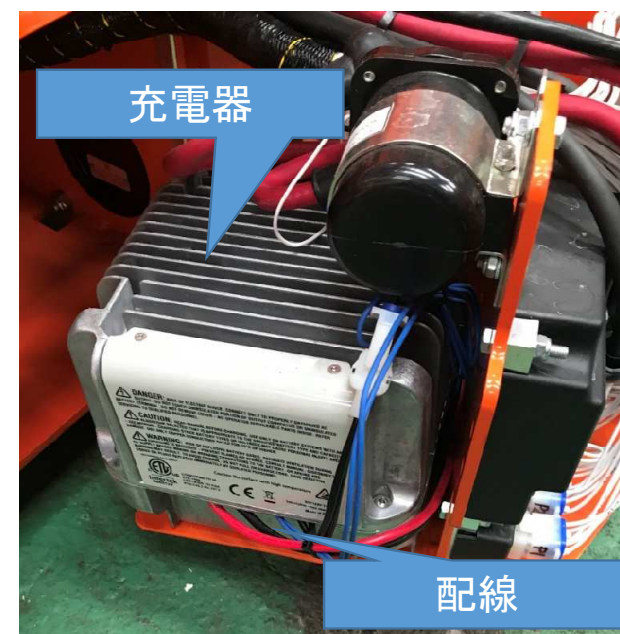
メンテナンスハッチ内にある

動力装置

②1 充電器



- 後部乗り込み口の下にある
- ・ボルトを外すと開閉可能です



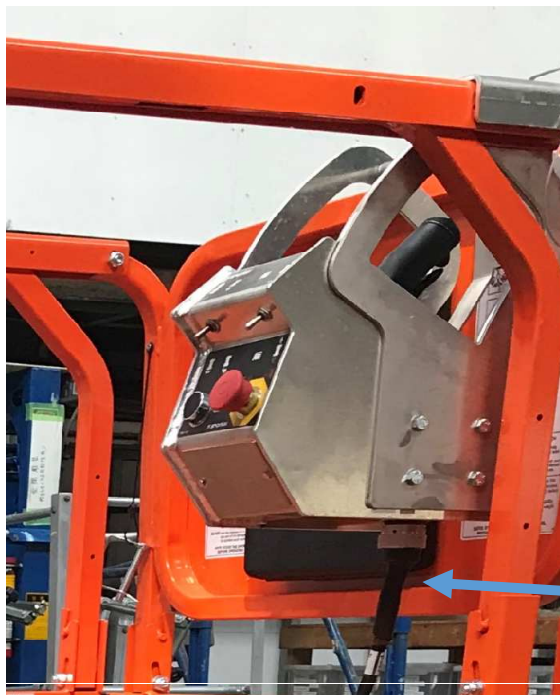
配線等に異常はないか
充電器の動作に問題はないか

動力装置

②作業床操作盤



- ・盤/機器の汚れ、破損の確認



- ・配線の取付、断線等ないか確認

配線とコネクタ

操作・制御装置

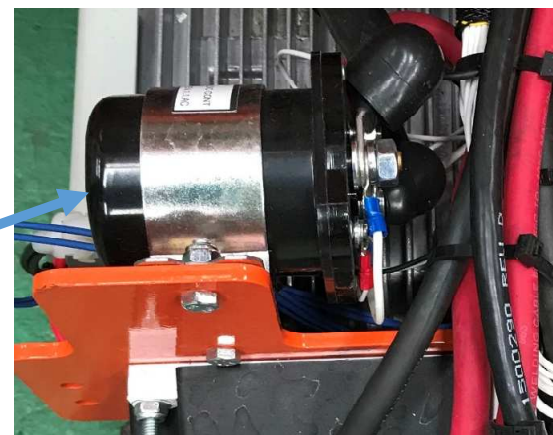
②③車体側操作盤 ②④リレー



・盤/機器の汚れ、破損の確認



配線とコネクタ

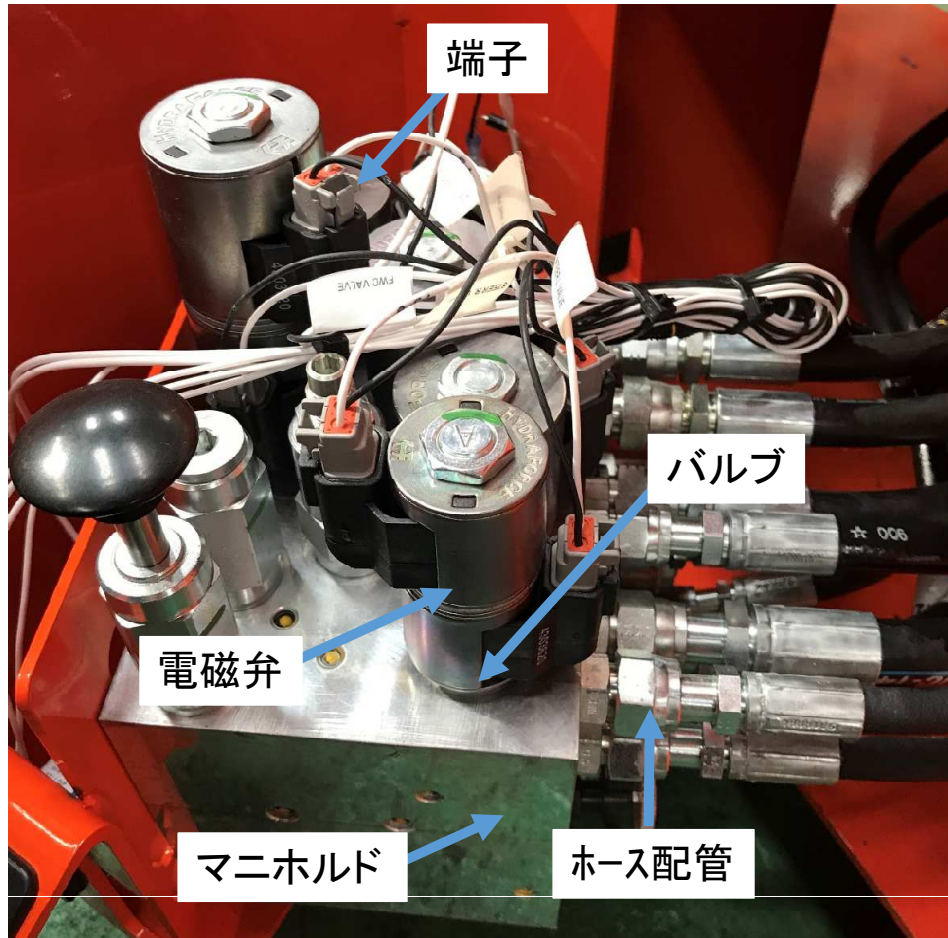


リレー

・配線の取付、緩みや断線等ないか確認

操作・制御装置

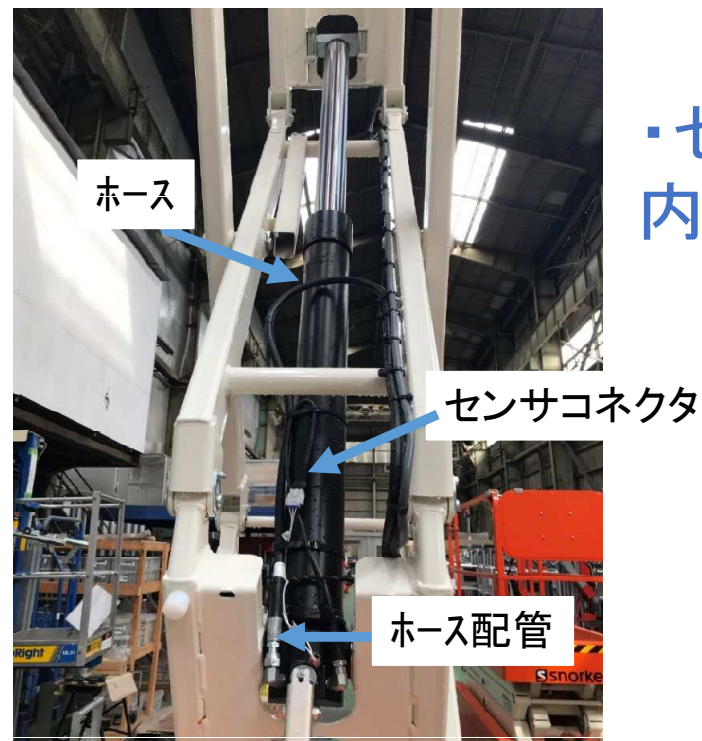
②⑤油圧マニホルド ②⑥電磁弁



- ・汚れ、油漏れ、端子緩みが無い
- ・各バルブのマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認
- ・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認
- ・電磁弁の端子抜け/緩みの確認

②⑦配線配管 ②⑧各種センサ

- ・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか
- ・各部センサ端子に異常はないか



・センサはシザーズ内側にもあります

操作・制御装置

②9 銘板



銘板

- ・銘板に汚れは無い、内容は判読できるか

③⑩傾斜角規制装置 ③⑪過積載規制装置

傾斜角規制装置

傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、機体が上昇しない事を確認します。

過積載規制装置

作業床に定格+10%の積載荷重を掛けた状態で上昇しない事を確認します。

③②安全弁 ③③走行警報装置

安全弁

※過積載をセンサで検出しないタイプの場合

- ・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
- ・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

走行警報装置

- ・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか
- ・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか

安全装置作動確認

③④非常停止装置 ③⑤緊急降下装置



- ・ボタンを押して動作がしなくなるか
- ・ボタンを引き出して動作できる状態になるか



- ・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認



身体を車体で挟まないように注意

安全装置作動確認

③⑥ 走行速度規制装置

- ・作業床を上昇させる
- ・リフトから走行に切り替える
- ・走行操作を行い、低速にしかならない事を確認する



安全装置作動確認

③7作業床自然降下

自然降下

下部操作装置にてリフトを上昇させる。

シリンダにマーキングする等、降下した場合に確認できるようにしておく。

1～2時間程度時間をおいて降下が無いか確認する。



安全装置作動確認

③⑧上昇 ③⑨降下 ④⑩クッション降下



- ・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

動作確認

④1高速走行 ④2低速走行 ④3ブレーキ作動 ④4制動



- ・高速走行: 作業床格納状態で高速走行となるか
- ・低速走行: 作業床上昇状態で低速走行となるか
- ・ブレーキ作動①: 走行操作入力でブレーキが解除されるか(引きずる感じはないか)
- ・ブレーキ作動②: 走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか
- ・制動: ブレーキが動作してから車体はすぐに止まるか

動作確認

④5 操向



- ・走行時にステアリング操作ができるか
- ・停止時にステアリング操作ができるか

動作確認

THANK YOU

Any Questions?



www.snorkellifts.com

ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン株式会社
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F

Tel : 03-5765-6841

Fax : 03-5765-6840

